

膝骨壊死・脆弱性骨折

膝骨壊死：

循環障害により壊死（骨が腐った状態）を起こすことがあります。そして、荷重で陥没を起こすと痛みが増強し歩けなくなり人工関節などの手術が必要になります。壊死範囲が比較的小さい場合は、初期の段階で診断して杖・足底板などで壊死部分への荷重を制限すると自然治癒して手術は避けられることがあります。大腿骨内側に好発します。

脆弱性骨折：

高齢者において骨粗鬆症のため日常生活動作で微小骨折（脆弱性骨折）が起きます。初期に杖・足底板による脆弱性骨折部への荷重を制限と骨粗鬆症薬の内服を行うと治癒します。しかし、荷重制限せずに放置すると病巣が拡大し壊死

（血液が循環せず骨が腐った状態）に陥ることがあります。そして、荷重で陥没を起こすと痛みが増強し歩けなくなり骨切り術や人工関節などの手術が必要になります。

